



人・自然と豊かに関わる子どもの育成  
 よく考える子ども  
 思いやりのある子ども  
 たくましい子ども  
 めざす学校像；笑顔あふれる学校

7月1日は『国民安全の日』です。国民一人ひとりが生活のあらゆる面で、安全について反省を加え、安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高めることを目的として制定された日です。毎年、日本各地で水難事故や交通事故により子どもの尊い命が失われています。本校でも尚一層、児童の安全に留意して参りたいと思います。スクールガードさんや保護者の方が登下校の見守りを行ってくださっています。暑い中、ありがとうございます。引き続き見守りをよろしくお願いいたします。梅雨も後半です。熱中症や水難事故等についての指導を行います。ご家庭でもお子様への注意喚起をよろしくお願いいたします。

**7月の行事予定**

※予定の変更がある場合は学年通信でお知らせします。

3	月	クラブ活動	14	金	登校指導 6年がん教育 4校時日課 個別懇談会
4	火	弁護士による出前授業 5,6年 運動器専門医健診(対象者のみ)	17	月	海の日(祝日)
5	水	町別集会・集団下校	18	火	給食終了 4校時日課
10	月	4,5,6年 6校時授業 5年よし笛教室(環境学習)	19	水	特別3校時日課(11:15下校)
11	火	バックマ・ハ・ハ 4校時日課 個別懇談会 スマホ・携帯安全教室 4,5,6年	20	木	終業式 大掃除 特別3校時日課(11:15下校)
12	水	4校時日課 個別懇談会	21	金	夏季休業開始
13	木	4校時日課 個別懇談会	9/1(金) 2学期始業式		

★ **連絡アプリ「tetoru(テトル)」について**

先日ご案内しましたように、今後「tetoru」にて次のような連絡を行います。全家庭での登録をお願いいたします。

例) 学校だより、学年通信、保健だより 等

※これまでのメール配信システムは今後も緊急時等に使用します。

★ **今年度の修学旅行について**

今年度の修学旅行は昨年度同様、彦根の琵琶湖コンファレンスセンターに宿泊する1泊2日(11/9木~11/10金)で計画します。コロナ5類移行で行き先変更を期待する方もおられると思いますが、  
 ○コロナ禍により全国的に修学旅行生を受け入れていた旅館の受け入れ中止や廃業が多い  
 ○本校の学校規模では6年生全員が宿泊できる旅館は急な予約が難しい  
 ○宿泊場所や活動等、現時点での全変更は十分な下見など安全面での準備が難しい  
 ○現段階での行き先変更は物価上昇や旅行人気復活の影響で費用がかなり高額となる  
 等の理由から宿泊地変更は致しません。活動内容は今後検討し、6年生保護者にお知らせします。  
 次年度(令和6年度)の修学旅行についても検討を始めていますが、候補地のひとつである広島方面でコロナ禍以前に本校が定宿にしていた旅館は予約できませんでした。1年以上先の旅館でさえも旅行社に探していただいている状況です。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

★ **ベルマーク収集により一輪車を購入しました**

保護者や地域の皆様方が収集してくださったベルマークにより、右写真の一輪車2台を購入させていただきました。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



★ **校則（学校生活のルールやきまり）の見直しについて**

校則は、子どもたちが健全に、安全にかつ安心して学校生活を送り、よりよく成長していくために設けられるものです。子どもたちが心身の発達の過程にあることや、学校が集団生活の場であることなどから、学校には一定のきまりが必要であり、学校教育において社会規範の遵守について適切な指導を行うことは重要です。そのため、学校教育目標に照らして定められる校則は教育的意義を有しています。

しかしながら、学校を取り巻く社会環境や子どもたちの状況などは常に変化するため、その内容が子どもたちの実情、保護者の考え方、地域の状況、社会の変化などを踏まえたものになっているのか、絶えず検証・見直しをする必要があります。そのため、逢坂小学校においては次の「校則見直しに関するスケジュール」に基づき、今年度、校則の見直しを進めてまいります。4月に配布しました「逢坂ナビ」をご確認いただき(本校HPからも参照できます)、学校のきまりに関わってご意見がありましたら7月20日(木)(終業式)までに学校までお知らせいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【 校則見直しに関するスケジュール 】

- ① 6月 校則見直しに関する検討委員会を設置し、見直しに関する方針を策定
- ② 7月～1月 校則見直しを検討
  - ・高学年の子どもたちへのアンケート
  - ・学校だよりを通して保護者からの意見を聴取
  - ・PTA運営委員会、学校運営協議会で意見を聴取
  - ・検討事項の抽出
  - ・改定事項を反映した校則の策定と確認
- ③ 2月 校則見直しの結果の公表
  - ・児童、保護者への周知(学校だより・入学説明会等)
  - ・学校運営協議会での公表
  - ・学校HPへの掲載

**校長室から** 晴れの日のために辛い練習を超える ～音楽会参観、ありがとうございました。

合奏で音楽を楽しもうとすると、まず音が出せないといけません。そして、いろんな高さの音が出せるほど、音の大小が表現できるほど、細かなタンギングができるほど、手指が速く正確に動かせるほど、気持ちをこめた表現力がつくほど、そしてみんなと練習するほど、音楽を楽しめる幅が広がっていきます。つまり、テキストに練習するだけではテキストな楽しさしか味わえないのです。音楽に限らず、リレーのバトンパス等、練習を要する物事はみな同じです。練習は辛いからと手を抜いてテキストに練習していると、「練習の辛さ」を「楽しさ」が超えてくる前にやめたくくなります。学校では、「練習の辛さ」を「楽しさ」が超えてくる体験を、子どもたちの発達段階に合わせてさせたいのです。それを超えさせるものが、コンクールや音楽会、運動会といった発表の場です。そうした子どもにとっての晴れの日(晴れやかで誇らしげな気持ちになれる日)は、見てもらえる、聴いてもらえるだけでも練習の励みになります。辛い練習を超えるきっかけとなり得るのです。学校行事で子どもが伸びる。とても大事なことです。音楽会では、みんな晴れやかな気持ちで一生懸命歌い、演奏していました。お陰様で、よき晴れの日になりました。暑い中、ご参観ありがとうございました。